

事例

魚離れを打開！～開かれた漁協・親しみやすいみなとづくりの取組～ (第3回食育活動表彰 消費・安全局長賞受賞)

よみたんぞん
読谷村漁業協同組合 (沖縄県)

沖縄県^{よみたんぞん}読谷村漁業協同組合では、魚や魚料理、漁業を身近に感じてもらうための様々な取組を通じて、親しみやすいみなとづくりを目指しています。

平成7(1995)年から開催している「おさかなフェスタ」では、魚のつかみ取りやマグロ解体ショー、一般の人が実際のセリに参加できる「一般セリ」等のイベントを開催し、親子で魚に触れ合える機会を提供しています。

平成12(2000)年から、漁業を通して魚や魚料理への親しみをより深めてもらうため、主に子供を対象とした定置網漁業体験を実施しているほか、平成25(2013)年から、漁業体験に加え、食品関連企業と連携して、捕れた魚を加工・調理・販売するまでの一連の流れを体験できる「漁業・加工・流通体験」等の取組を開始しました。このような体験を通して、魚離れを食い止めるだけでなく、子供たちに漁師という仕事の魅力を伝えることを目指しています。

また、平成29(2017)年から、定置網で捕れた魚や地元で収穫された食材等を使用した手作りの食事を、大人200円、高校生以下無料で提供する「うみんちゅみなとピクニック」を実施しています。漁港内に設置したテーブルで水産物をふんだんに使用した食事を食べることができ、村内外から友達同士や親子など多くの人が参加する共食の場となっています。

このほか、^{よみたんぞん}読谷村内の給食センターと連携した学校給食への魚料理の提案と食材提供、食品関連企業との連携による地元水産物を使用した新商品の開発・販売、子育て世代の母親向け魚料理教室の開催など、多くの人が魚や魚料理に親しむ機会を提供する取組を行っています。



定置網漁業体験をする子供たち



「おさかなフェスタ」でのマグロ解体ショーの様子



「うみんちゅみなとピクニック」での共食の様子